

# と おかまち

Public Relations

市報



12<sup>2017</sup>/<sub>10</sub>

平成29年 12月10日号

No.305

特集



## 家族を照らす、太陽となるために

発達支援センター「おひさま」の取り組み(2~7ページ)

十日町市発達支援センター おひさま



### その他の主な内容

#### ピックアップニュース

- 8 第69回十日町雪まつりのお知らせほか
- 12 第50回記念十日町市美術展
- 14 平成29年度 全国学力・学習状況調査結果
- 16 タウンピククス  
連載コーナー①
- 19 地元サポーター通信/キラメキワークス
- 21 お知らせ・ガイド  
連載コーナー②
- 26 熱中・夢中/おらほのたから
- 28 ジュニア芸術祭



子育てに関する相談や、子どもの発達・成長を促す支援を行う施設です。ことばの遅れ・友だちとの関係・こだわりなど、子どもの発達・成長に関して悩みを持つ保護者は増えています。そんな悩みを保護者の皆さんとともに考え、支援します。



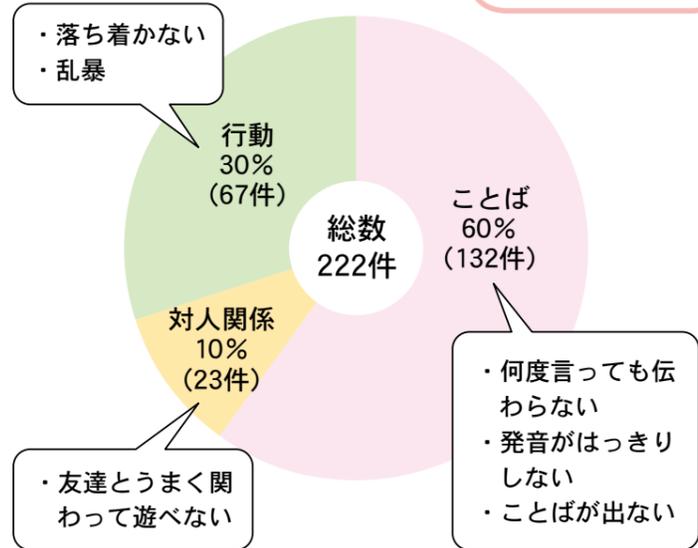
イメージキャラクター おひさまん



おひさまでは、保護者が感じている子どもの発達や成長に関しての、さまざまな相談を受け付けています。保護者からおひさままで直接相談を受けることもあれば、市の乳幼児健診などの会場で、また市内の保育園・こども園から相談が寄せられることもあります。

相談の内容としては、大きく3つに分けられます。最も多い相談は、子どもの「ことば」の発達についてです。このほか、保育園などでの集団生活を送る中で、「対人関係」や「行動」などに関する相談が寄せられています。

平成28年度の相談実数



●おひさま開設前（各種窓口での相談件数）と比べ、相談数は **約2.5倍** に増えました

●平成28年度はおひさまを **延べ2,851人** が利用しました



発達支援センター「おひさま」の取組み

家族を照らす、太陽となるために

全国初の発達支援と共生教育の融合を実現する施設として、平成25年4月に開設された十日町市発達支援センター「おひさま」。今年開設から5年目を迎え、これまでの実績を生かし、子どもたちの健やかな発達と成長を図る拠点として、さまざまな取組みを行っています。今号では、寄せられる相談、また実際に行われている教室の様子などを紹介し、発達支援センター「おひさま」を特集します。未来を担う子どもたちの「心」と「ことば」を豊かに育てるために、早期からそれぞれの子どもにも合わせた支援のあり方を、一緒に考えませんか。

■問合せ 発達支援センター「おひさま」  
☎ 752-7270



乳児健診での健康教育の様子



**対**10か月～1歳6か月未満  
**内**子どもの興味のある遊びを見つけ、ハイハイから歩行までの発達を促します

声

通い始めたときは、まだハイハイが十分にできず不安でしたが、今は自分の足でしっかりと歩けるようになりました。歩いたときの感動は忘れることができません。7か月間、ひろばで過ごした思い出を大切にしたいです。



**対**3歳以下  
**内**親子で身体を動かす遊びを通して、「ことば」の発達や落ち着いて行動する力の基盤を作ります

個別教室



**対**4歳以上  
**内**苦手な日常生活動作や発音の不明瞭さを改善するため、指導員が個別で指導します

声

初子で「ことば」が少なく、不安に感じていました。そんなときおひさまを紹介され、はじめは通うことに抵抗もあり、「できない子」と決めつけていました。教室に参加することができるのがたくさん見つけられ、自分の気持ちも救われ、子どもの可能性を伸ばすことができました。



**対**5歳以上  
**内**小学校入学に向け、話を聞く力・友達と関わる力・ルールを守って行動する力を大きくみます

家族支援

家族みんなで交流し、子どもの発達・成長について考えています

●ファミリー会・家族交流会

訓練教室に通う子どもと家族を対象に、ファミリー会や家族交流会を開催しています。おひさま職員が講師となり、「褒めることの大切さ」や「日常生活で子どもができることを増やす工夫」などを伝え、それぞれの家庭に合わせた対応を一緒に考えています。家族同士で顔の見える関係づくりのきっかけにもなっています。



声

楽しく子育ての話ができ、いろいろ参考になりました。気分転換にもなりました。

研修

子どもの発達・成長を支える地域の皆さんと支援者向けに、研修会を開催しています

●発達支援講演会

家族形態が変化し、家族から育児協力が得られにくい子育て世帯が多くなっています。そのため、地域全体で子どもの成長を見守る必要があります。おひさまでは発達支援に関する講演会を年1回開催しています。  
今年6月24日には、おひさま開設5周年を記念して、言語聴覚士の中川信子さんを講師に、「心」と「ことば」の関わりなど子育てについて、講演をいただきました。



【中川さんのメッセージ】  
「ふつうの子育てをていねいに」  
障がいがあってもなくても、育て方は同じです。

●保育士研修会

市内保育園・こども園の職員を対象に、年2回開催しています。今年度は、「遊びの持つ意味や効果」について話し合いました。おひさまと園にある遊具は違いますが、子どもの発達・成長を促す効果は同じであることを確認しました。子どもが毎日通う園でも、効果的な対応ができるよう、各園と連携を強化しています。



【おひさまプレールームの様子】  
子どもの心とことばを豊かに育てるための、基礎となる身体を動かす遊びをしています。

チェック

☑ こんなこと、ないですか？

**日常生活で**

- じっとしていることが苦手
- 集中して物事に取り組めない
- 次の活動になかなか移れない
- 注意されても同じことを繰り返す
- 自分勝手に話し始める

**集団生活で**

- 順番やルールを守れない
- 友達とすぐけんかになってしまう
- 自分の気持ちを伝えられない
- 一人でいることが多い
- 相手を傷つけることを言うってしまう
- 一番にならないと怒る

小学校への入学が近づくと、おひさまへの相談が多くなります。5歳以上の子どもで、左のチェックリストにあるような様子が多く見られるときは、おひさまへ相談してください。

### 小学校入学に向けて、 気になることはありませんか



おひさまはここ

〒948-0022 十日町市学校町1丁目 614番地32

十日町小学校  
ふれあいの丘支援学校併設

●市民体育館

↑六日町

←小千谷 本町3丁目 本町2丁目 津南→

●十じろう ●分じろう

●高田町通り ●段十ろう

●十日町 ●市役所 ●警察署

↓上越

JR 飯山線 十日町駅

誰でも・いつでも・どこでも  
気軽に相談できます

おひさまには、保育士・臨床心理士・保健師・作業療法士・社会福祉士・教員と、さまざまな専門スタッフがいます。また、相談場所はおひさまだけでなく、職員が自宅や保育園・こども園を訪問して、対応することもできます。「ちよつと気になる」と気づいたときから、子どもに合わせた対応を一緒に考えていきましょう。



### 発達支援に関する相談は

#### 【小学校入学前】

- 担当＝発達支援センター「おひさま」  
(☎752-7270)
- 相談時間＝(月)～(金) 午前8時30分～午後5時15分(祝日・年末年始を除く)

#### 【小学校入学後】

- 担当＝教育センター教育相談班  
(市役所川西庁舎3階・☎756-5010)
- 相談時間＝(月)～(金) 午前9時～午後5時(休日を希望するときは事前に連絡)



十日町保健所 療育相談担当医師  
新潟大学医歯学総合病院  
小児科 大橋 伯さん

**質問**  
診療や療育相談を受ける子どもの状況・印象は？

**回答**  
子どもの状況はその子によって違い、相談内容もさまざまです。本人が困っているというより、保護者が「気になる」ということから、相談に来ることが多いです。また、気になったときにすぐに相談に来るといいうことは少なく、おひさまや市の乳幼児健診などで相談があり、そこから医師への相談を勧められ、来訪するケースが多いです。

**質問**  
どんなときに相談をすれば良いの？

**回答**  
「ちよつと気になる」ときは、早めに相談してください。「落ち着かない」「きょうだいや近所の子に比べて変わっている」「園で友だちと一緒に活動できない」など、気づきを見逃さないことが大切です。

なぜ？

子どもの発達・成長について、医療の専門家に聞きました

どうして？

## 勇気を出して相談してください 希望となる道が開けると思います

**質問**  
早めに相談すると良いのはなぜ？

**回答**  
相談の結果、心配なことがわかれば、本人も家族もまずは安心できます。また、支援が必要と判断されたときも、早くから訓練することで本人の持つ能力を十分に引き出すことができ、家族が困るような行動も、少しずつ変えていくことができます。早期に解決ができれば、本人にとっても良いことですし、家族も安心して子育てができるのではないのでしょうか。

**質問**  
「発達障がい」の原因は何？

**回答**  
生まれながらの脳の特性と考えられています。原因ははっきりしていません。ただ、本人の努力不足、また育て方が原因で起るものではありません。

悩んでいる皆さんへ

核家族化や少子化、共働き家庭の増加など、家族形態が変化しています。周りの助けを得られずに困っているお父さん・お母さんも多いのではないのでしょうか。そんなことから悩み・疲れて、子どもの状態も悪くなってしまうケースも見受けられます。また、保育園などで子どもが変わっていると言われたことで、保護者同士の関係にも影響してしまうということもあるようです。

自身の思いなどもあり、保護者が相談などの行動に移すことは、とても勇気がいることだと思います。ですが、そんなときこそ思い切つて保健師・保育士やおひさまへ相談してください。家族にとって希望となる道が開けると思います。



★ 十日町雪まつりパスポート **特典ぎっしり! とってもお得で便利!**

|             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 十日町市民<br>割引 | 2,000円<br>(前売・窓口販売取扱のみ)  |
| 一般<br>パスポート | 前売: 2,500円<br>当日: 3,000円 |

※1月中旬販売  
(市報12月25日号でお知らせします)

●取り扱い＝雪まつり事務局(市総合観光案内所内)、各支所地域振興課、中央公民館、各地区公民館、クロスステーション、キナーレ、イオン十日町店、全国のコンビニ端末(セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクス、ミニストップ)、JR東日本管内「びゅうプラザ」・「みどりの窓口」など(予定)で購入できます。詳しくは、十日町雪まつり公式ホームページをご覧ください。

お得な **8** 特典

**特典1** **パスポート抽選券**  
豪華景品が当たる応募はがき付きです。  
●景品(一部)＝  
・ホテルベルナティオ・ペア宿泊券 [1泊2食付] (ペア2組4人)  
・十日町市カタログギフト(3人) マンマアンドカフェ  
・manma and café ユキマツリ 2,000円分食事券(4人) ほか



**特典2** **雪の芸術作品めぐり・市街地めぐりスタンプラリー**  
雪の芸術作品とおもてなしサービス協賛店に設置するスタンプを、5個以上集めた人にネージュ絵本を、10個以上集めた人にトートバックをプレゼント。

**特典3** **雪上カーニバルパスポート優待ゾーンへの入場**  
雪上カーニバル(2月17日(土)開催)の「パスポート優待ゾーン」に入場できます。

**特典4** **前売りのみの特典 雪上カーニバル出演者記念撮影権**  
パスポートにある応募券(応募ナンバー)を用いて事前申し込みをすると、抽選で雪上カーニバル出演者と一緒に記念撮影ができるスペシャル特典。ただし、2月17日(土)の指定した時間に雪上カーニバル会場に来場できる人が対象です。詳細は十日町雪まつり公式ホームページをご覧ください。※特定の出演者のみとの撮影希望は受けられません

◆イベント情報は随時更新します。詳細は十日町雪まつり公式ホームページ(<http://snowfes.jp/>)をご覧ください。

**特典5** **雪の芸術展 雪像見学ツアー割引サービス**  
雪像見学ツアー(2月16日(金)・17日(土))の参加費が半額になります(通常3,000円)。ツアー参加は開催2日前までに申し込んでください。  
●申込み先＝共立観光(株) ☎752-4128

**特典6** **市街地巡回バス・ひろば巡回バス 巡回バス乗り放題**  
巡回バスが乗り放題になります。  
【市街地巡回バス】  
日 2月17日(土)午前10時～午後8時、18日(日)午前10時～午後2時40分(予定)  
料 1回の利用につき200円  
【ひろば巡回ミニツアーバス】  
日 2月17日(土)午前10時～午後6時40分、18日(日)午前10時40分～午後1時50分(予定)  
料 1便につき500円

**特典7** **市内スキー場リフト券割引**  
上越国際当間スキー場・まつだいファミリースキー場・なかさと清津スキー場・松之山温泉スキー場の、1日リフト券の割引が受けられます。

**特典8** **商店街・レンタカー・日帰り温泉・博物館 おもてなしサービス**  
商店街の店や入浴施設などで、独自のおもてなしサービスを受けられます。

第69回 白い愛の祭典



豪雪のぬくもり ～十日町の首里城～

平成30年 **2月16日(金)～18日(日)** ■問合せ※十日町雪まつり実行委員会事務局 ☎757-3100

★ 雪上カーニバル 出演アーティスト

日時 2月17日(土) 午後5時～6時30分  
会場 城ヶ丘ピュアランド 特設会場 (十日町駅から徒歩約30分)  
※都合により、予告なく出演者を変更することがあります



MC: イジリー岡田

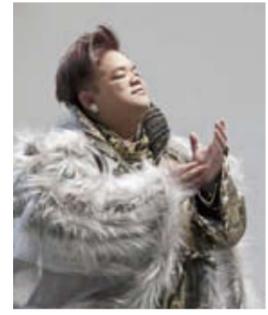


MC: 大島麻衣

出演者12月中に追加発表!  
十日町雪まつり 検索



NGT48



岡本 知高



ネーネーズ

雪像ステージ

琉球王国の栄華を物語る世界遺産「首里城」に「火焰型土器」の雪像を展開。日本遺産である雪国文化と火焰型土器を国内外に発信するとともに、巨大で迫力ある雪上ステージの魅力を最大限に表現します。石垣には、沖縄を象徴するハイビスカスのレリーフをあしらう予定です。



★ 雪上カーニバル ステージ裏見学ツアー

日 2月15日(木)午後4時集合  
定 先着20人※小学生以上 ¥無料  
他 中央公民館から会場まで往復徒歩、要事前予約  
申・問(一社)十日町市観光協会 ☎757-3345

普段は見るできないステージの裏側や、花火の打ち上げ台などを見学。  
制作中の巨大ステージを体感しながら、主演者の気分が味わえます。

# ★ 各種募集のお知らせ

雪まつりに参加して、楽しみましょう!

## 雪まつり協賛金募集

イベントを盛大に開催するための協賛を募集します。団体・個人を問いません。多くの皆さんから協賛をお願いします。申し込みは、十日町雪まつり公式ホームページ、または雪まつり事務局にある応募用紙を提出してください。

### 【法人・団体向け「一般協賛」】

1口10,000円から受け付けます。10,000円の寄附につき1枚の雪上カーニバル優待ゾーン招待券を贈呈します。

### 【個人向け「花火協賛」】

1口500円から受け付けます。10,000円の寄附につき1枚の雪上カーニバル優待ゾーン招待券を贈呈します。また、差し支えなければ十日町雪まつりガイドブックへ名前を掲載します。

- 注意事項＝
  - ・雪上カーニバル優待ゾーン招待券贈呈は、2月2日(金)までに申込みをした人のみ
  - ・花火協賛の申込みは2月16日(金)まで(入金はこれ以降でも可)。また、ガイドブックへの名前掲載は1月12日(金)までに申込みをした人のみ

## 協賛行事募集

雪まつりを盛り上げるため、期間中に開催する地域の催しを協賛行事として募集します。協賛行事は雪まつりガイドブックに日時と行事名を掲載します。※経費を補助するものではありません

- 応募締切り＝1月9日(火)
- 応募方法＝所定の用紙(雪まつりホームページ・雪まつり事務局に配置)を雪まつり事務局に提出してください。



## ひろば開設・雪像制作団体募集

おまつりひろばを開設する団体と、雪の芸術作品の制作団体を募集します。

### 【おまつりひろば】

ひろばで来訪客を迎え、おもてなしします。

### 【雪の芸術作品】

出品区分は3部門(芸術部門・特別部門・学童部門)とします。

※芸術部門は十日町地域の作品のみが審査対象

- 応募締切り＝12月25日(月)
- 応募方法＝所定の用紙(雪まつりホームページ・雪まつり事務局に配置)を雪まつり事務局に提出してください。



## ウェルカムステージ出演者募集

- 日 2月17日(土)午後3時～5時30分(予定)
  - ※準備・撤収を含めて1組30分程度
- 会 コミュニティひろば(十日町高校グラウンド)
  - ウェルカムステージ

- 応募数＝4組※個人・グループは不問
- 応募企画＝音楽ライブ、お笑い など
- 応募締切り＝12月27日(水)必着
  - ※応募多数のとき、企画内容を審査の上決定
- 応募方法＝出演を希望する人は代表者氏名・住所・連絡先・企画概要を準備のうえ、雪まつり事務局へ問い合わせてください。後日、事務局より募集要項と申込書を郵送します。

# ★ 十日町きもの女王コンテスト2018

コンテスト出場者募集



昨年のコンテストの様子



十日町きもの女王2017の皆さん  
(左から保坂美和さん、品田涼花さん、井口萌子さん)

市の観光親善大使として、観光イベントや観光宣伝、都市間交流、きもののPRなどさまざまな場面で活躍する女性を募集します。豪華賞品も盛りだくさん。多数の応募をお待ちしています。

- 選出人数＝3人
- 応募資格＝
  - ・未婚・既婚を問わず、1年間の活動が可能な18歳以上の女性(高校生除く)
  - ・新潟県内在住者※県外在住でも県内に帰省地があるときは応募可
  - ・市の観光親善大使として、平日を含め年間20日程度、市の観光行事などに出席可能な人(書類審査通過者は、勤務先などから出席に関する同意書の提出をお願いします)
  - ・ほかのコンテストに入賞し、任期中でない人
  - ・十日町やきものが大好きで、全国に向けてPRしたいという熱意のある人
- 応募方法＝
  - ・必要事項を記入した応募用紙を持参もしくは郵送
  - ・十日町雪まつり公式ホームページの応募フォームで申し込み

- ※いずれも3か月以内に撮影された、正面向きの顔のみと正面向きの全身カラー写真各1枚(L版・1人で写っている写真)が必要
- ※提出した応募書類・写真は返却しません
- ※提出された写真および氏名・住所(市町村)は、十日町雪まつりガイドブック・公式ホームページ・フェイスブック・報道機関が発行する刊行物などに掲載します

- 応募締切＝1月12日(金)午後7時必着
- 審査会＝
  - ・予選会(書類審査)
    - 1月14日(日)午後1時～
  - ・本選会出場者説明会(12人)
    - 1月27日(土)午後1時～
  - ・本選会(公開審査)
    - 2月18日(日)

申・問  
十日町雪まつり実行委員会事務局  
十日町きもの女王コンテスト係 ☎757-3100



問合せ  
十日町雪まつり実行委員会事務局(市総合観光案内所) ☎757-3100  
ホームページ <http://snowfes.jp/> 電子メール [snowfes@city.tokamachi.lg.jp](mailto:snowfes@city.tokamachi.lg.jp)

書道

市展賞

がさいせんれい  
「畫彩仙靈」

- 山岸 繁雄 (松之山)
- 50回記念賞  
金澤 正明 (中条峠)
- 奨励賞  
服部 道子 (笹之沢)  
滝沢 妙子 (昭和町4)
- 新潟日報美術振興賞  
上村 ナホ (新宮1)
- 佳作賞  
山岸 玲子 (越ヶ沢)  
佐藤 優奈 (十日町高校)  
山口 梨絢 (十日町高校)  
庭野美奈子 (本町6の3)  
樋口こずえ (土市2)



現代美術

市展賞

- 「秋深し」  
山口 清治 (浦田)
- 50回記念賞  
桑原 佑実、筒井 海羽  
(津南中等教育学校)
- 佳作賞  
湯澤 美代 (四日町3)  
金子 清一 (下平新田)

第50回記念十日町市美術展

50回記念にふさわしい力作ぞろい

問合せ：生涯学習課 ☎757-5011

芸術の秋、毎年恒例の十日町市美術展が開催され、多くの人からの出展がありました。また、今年は新しい会場(段十ろう)で50回目の開催であったことから、1728人もの来場者がありました。各部門の入賞者をお知らせします。

- 期間 11月18日(土)～21日(火)
- 会場 越後妻有文化ホール・十日町中央公民館「段十ろう」
- 応募者数 215人
- 応募数 277点 (8部門・日本画8、洋画39、版画10、現代美術16、彫刻6、工芸20、書道49、写真129)
- 入賞点数 58点



日本画

市展賞

- 「プラットホーム」  
大塚 清明 (柏崎市)
- 50回記念賞  
新保 利雄 (小千谷市)
- 佳作賞  
富井 淳 (上野)

洋画

市展賞

- 「あおむけ」  
阿部 勝則 (十日町市)
- 50回記念賞  
岩野 弘一 (南魚沼市)
- 奨励賞  
高橋 幸子 (天水島)
- 新潟日報美術振興賞  
高橋 順平 (天水島)
- 佳作賞  
井上美代子 (下川原町)  
高橋 守 (稲荷町4)  
関口 耕二 (十日町市)  
根津 一良 (尾崎)



写真



市展賞

- 「出番待ち」  
外山 和子 (魚沼市)
- 50回記念賞  
平野 悟 (四郎兼)
- 奨励賞  
齋木 文雄 (南鏡坂)  
村山 博 (中町)  
白川 啓子 (四日町新田2)  
水落 悟 (高島2)  
富所 上 (南魚沼市)  
阿部 佑輔 (千代田町)
- 新潟日報美術振興賞  
樋口 芳一 (荒屋)
- 佳作賞  
鈴木 洋一 (松代)  
佐藤 明彦 (松之山)  
高橋 俊明 (新座)  
仲 淳 (小千谷市)  
須藤 功 (下町)  
新保 暢一 (小千谷市)  
齋木 昇 (上原)  
佐々木新一 (小千谷市)  
和田 恒夫 (小千谷市)  
川崎 正義 (千手栄町)  
江部 堅市 (南魚沼市)  
村山 栄一 (新座1)  
山本 貴一 (中町)



版画

市展賞

- 「ブルーフラミンゴ」  
松本さりな (中島町)
- 50回記念賞  
小川 仁 (長岡市)
- 佳作賞  
佐藤 謙次 (長岡市)



50回目を記念して、十日町市美術展に功績のあった8人の作品を特別に展示しました

彫刻



市展賞

- 「北の獐猛な者」  
柳 佳邑 (稲荷町3南)
- 50回記念賞  
曾根 知子 (新座3)
- 佳作賞  
村山 亨 (新座4)

工芸

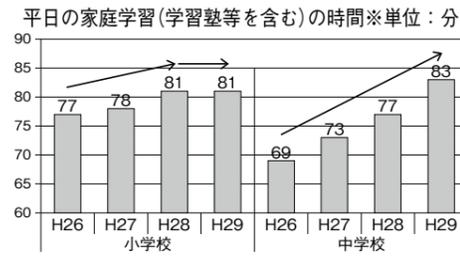
市展賞

- 「緑風」  
松澤せつ子 (上野)
- 50回記念賞  
小杉 和子 (下条本町)
- 新潟日報美術振興賞  
小守 郁実 (高田町4)
- 佳作賞  
春日 一星 (樽沢)  
小林 高子 (駅通り)

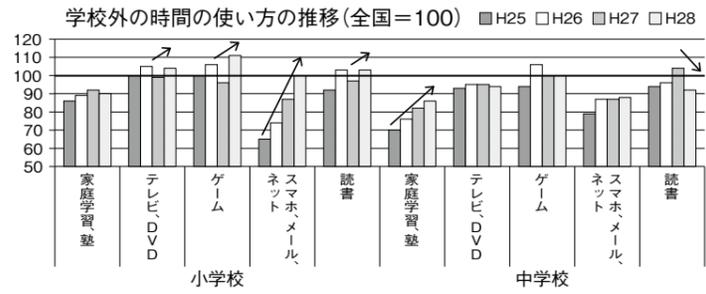


学校外での時間の使い方について

※児童生徒の意識や基本的な生活習慣、学習の取組状況などの質問紙調査からの状況です



平均時間は、市教育センターで独自に算出したものです。



**成果と課題**  
 ● 家庭学習については、小中一貫教育の取組みや、教育センターの放課後寺子屋塾などの取組みにより、習慣が定着してきました。  
 ● テレビ・DVD・ゲームの時間、スマホ・メール・インターネットなどの時間が、学力の低下に影響を及ぼしていることが考えられます。特に、小学生への影響が大きいことから、小学校段階でのメディアコントロールの対策が重要です。

**結果**  
 ● 家庭学習（塾を含む）の時間・はじめて中3が小6を上回りました。平均時間の比較では全国より低いものの、1時間以上学習している児童生徒の割合は全国状況とほぼ同等です。  
 ● 小学校・テレビ・DVD・ゲームの時間、スマホ・メール・インターネットなどの時間は増加傾向です。特にスマホなどの時間は全国並みに達しました。  
 ● 中学校では、ゲームの時間が全国とほぼ同等で、スマホ・メール・インターネットなどの時間は全国比で低いですが、使用時間や所持率は年々増加しています。

平成29年度 全国学力・学習状況調査結果



ふるさとを愛し、自立して社会で生きる子どもの育成のために

問合せ：教育センター ☎756-5011

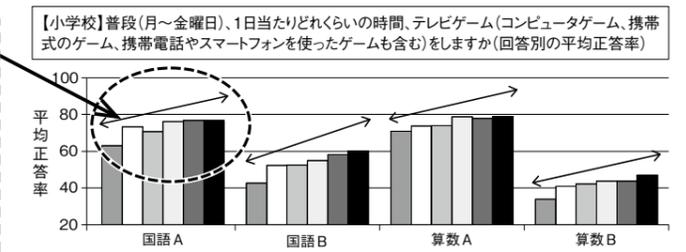


この本調査は、学校における児童生徒への教育指導の充実や、学習状況の改善などに役立てることを目的としています。  
 本調査の結果は学力の一面であり、学校の教育活動の側面です。

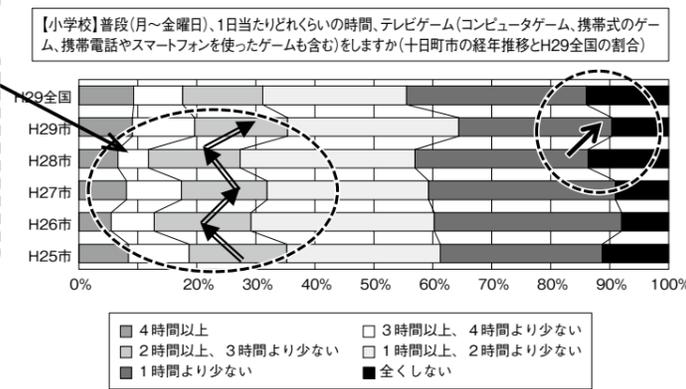
平成29年4月に実施した「全国学力・学習状況調査（対象：小学6年生・中学3年生）」の十日町市の結果概要を公表します。家庭・地域・学校・教育委員会がそれぞれの役割を担い、連携しながら子どもたちの成長のための教育環境をつくっていく必要があります。

小学校「ゲームの時間」と平均正答率との関係、経年変化について

「ゲームの時間」について、回答した時間ごとの児童の平均正答率を表したグラフです。左側はゲーム時間が長く、右側へ行くほど時間が短い児童です。どの教科も右肩上がりです。これはゲームの時間が短いほど正答率が高く、長いほど正答率が低い傾向を表しています。  
 4時間以上ゲームをしている児童と1時間未満の児童では、国語Bで15ポイント、算数Bで10ポイントの差が見られます。



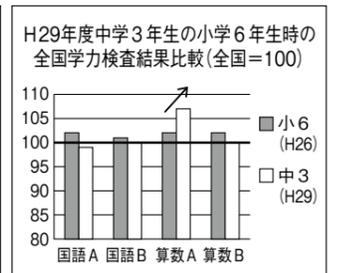
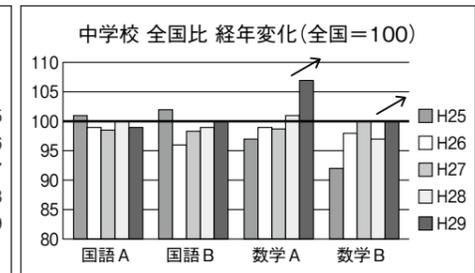
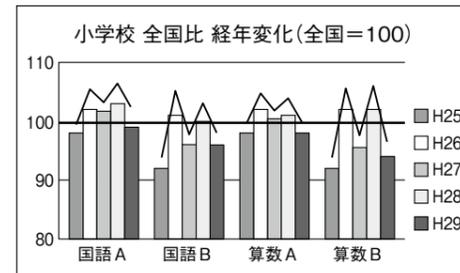
「2時間以上」や「3時間以上」の推移の波形が、教科の平均正答率の波形と類似しています。時間が短い年度（H26、H28）は正答率が高く、長い年度（H25、H27、H29）は正答率が低い傾向が見られます。「ゲームの時間」が正答率に影響していると考えられます。  
 H29年度は、全国平均や昨年度より、ゲームをする児童の割合が増えています。



※小学校では、「テレビ、ビデオ、DVDなどの視聴時間」でも「ゲームの時間」と同じ状況が見られました。中学校では、「ゲームの時間」について、短いほど正答率が高いという傾向が見られました

学力状況について

※Aは知識、Bは活用力を問う出題です



**結果** ※数値は平均正答率です。  
 ● 小学校・国語A 74%（全国74・8%）は、全国平均とほぼ同等、国語B 55%（全国57・5%）、算数A 77%（全国78・6%）、算数B 43%（全国45・9%）で全国平均を下回りました。  
 ● 中学校・国語A 77%（全国77・4%）、国語B 72%（全国72・7%）、数学B 48%（全国48・1%）で全国平均にほぼ達しました。数学A 69%（全国64・6%）については、現中学3年生の小学6年生時（平成26年）との比較からも分かるように大幅に向上しました。

**教育委員会**・学校訪問などで各学校に情報提供・助言をするとともに、教職員の指導力向上を目指した研修を充実させます。また、小学校段階でのメディアコントロールの取組み、「家読」の推進、放課後寺子屋塾の充実など、各取組みの一層の工夫・充実を図ります。

**各家庭**・学校やPTA、家庭など、さまざまな場面で連携しながら、メディアコントロール、家庭学習の習慣化の取組を進めることが大切です。  
**各学校**・知識・技能を活用する力を高めるために、授業を改善していきます。また、家庭やPTA、中学校区で連携し、メディアコントロールや、家庭学習の習慣化の取組を充実させます。  
**課題解決の方向とこれからの取組**  
 ● 家庭・学校やPTA、家庭など、さまざまな場面で連携しながら、メディアコントロール、家庭学習の習慣化の取組を進めることが大切です。  
 ● 各学校・知識・技能を活用する力を高めるために、授業を改善していきます。また、家庭やPTA、中学校区で連携し、メディアコントロールや、家庭学習の習慣化の取組を充実させます。

**成果と課題**  
 ● 小学校・各校の分析に基づく教材研究や学び直しの時間の設定、活用力の向上に向けた授業改善が必要で、また、過去5年間の変化を見ると、年度ごとに上下と推移しています。この上下の波形が、ゲームを含むメディア使用時間の推移と類似（後述）しており、メディアコントロール（テレビ・ゲームなどの自己管理）の取組を含めた学力向上対策が必要です。  
 ● 中学校・授業の基盤となる学級経営の安定、小中一貫教育での連携した取組み、数学の学力向上専門監配置事業（平成27年・平成28年実施）など、中学校での全校体制による授業改善の成果が表れました。今後も維持・向上していきける工夫が必要です。

## 「八箇峠道路」が部分開通しました

11月25日(土)：八箇地区

上越魚沼地域振興快速道路（通称：上沼道）の一部を構成し、十日町市と南魚沼市を結ぶ国道253号「八箇峠道路」が部分開通しました。今回の開通区間は「八箇峠トンネル」を含む、八箇インターチェンジ（十日町市）から野田インターチェンジ（南魚沼市）間の6.6キロメートルです。

開通に先立ち、八箇峠トンネル内で関係者約400人が出席した開通式典が行われ、地元の川治小学校の児童が祝い唄「天神囃子」を披露。その後、テープカットとくす玉割りも行われ、地域の念願であった新しい道路の完成と開通を祝いました。



天神囃子を歌う川治小学校児童の皆さん



式典の最後には参加者による記念パレードも行われました

## 滋慶学園グループ・当間高原リゾート 連携協定締結式



両者は以前から産学連携プロジェクトを進めており、市との協定締結もこの交流がきっかけとなりました。

締結式で関口市長は「医療・介護および産業分野における人材や技術の登用をはじめ、当市のイベントなどに多くの学生から関わってもらうことで、各事業のさらなる充実につなげたい」と話し、滋慶学園グループの浮舟代表理事からは、「多様な分野で連携・協力し、十日町市の地方創生・地域活性化のお役に立ちたい」とあいさつがありました。

## 地域活性化のために滋慶学園グループと連携協定を締結

11月3日（文化の日）：市役所本庁

市は（一社）滋慶学園グループと多様な分野で相互に連携し、人的・知的交流を通じて地域社会の発展と教育の充実・発展に資することを目的に、連携に関する協定を締結しました。同グループは専門学校を中心に全国で約70校を運営、約500種にもおよぶ職業人を育成・輩出しています。また、同会場で滋慶学園グループと株当間高原リゾートも連携協定を締結しました。

## 協力して女性の命を救う 火災現場での行動に感謝

11月5日(日)：消防本部

樋口久さんとその娘婿の泰範さん（中町）に、人命救助の功績で十日町地域消防本部から感謝状が贈呈されました。

2人は10月17日の朝、自宅近くで発生した建物火災で逃げ遅れた女性が建物2階窓から飛び降りたところを、協力して受け止めました。2階からは4メートルの高さがあり、また地面もコンクリートであったことから、この行動がなければ女性は大きなけがを負う恐れもありました。根津正一消防長からは、「お二人の適切な行動が、市民の尊い命を救いました。本当にありがとうございました」という感謝の言葉も贈られました。



左：泰範さん 右：久さん

## 待ち望まれた文化・芸術の拠点施設が開館

11月3日（文化の日）：段十ろう

秋晴れとなったこの日、“まち”と“ひと”を芸術・文化でつなぐにぎわい拠点、越後妻有文化ホール・十日町中央公民館「段十ろう」が開館しました。開館記念式典には関口市長はじめ、招待客など520人が参加。さまざまなアトラクションも行われ、待ち望まれた施設の完成を祝いました。



※「段十ろう」については、市報10月10日号でも特集しています。これから開催される記念イベントの案内もありますので、ぜひご覧ください



## 5,400人余りが巣立った学び舎が閉校

11月11日(土)：県立川西高等学校

今年度で閉校となる県立川西高等学校（佐藤真佐人校長・生徒60人）の閉校記念式典が開催されました。同校は昭和52年4月1日に開校、以来41年間にわたり、多くの生徒の成長を見守ってきました。今年度の在校生を加えれば、5,400人余りもの人材が、教育目標である「自律」「和敬」「力行」を胸に巣立って行きました。

記念式典には在校生や教職員のほか、卒業生、歴代教職員など関係者440人が参加。在校生を代表し、遠田馨人さんからは「今まで学校を支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。私たちは川西高校最後の生徒として、有終の美を飾るべく努力しました。感謝と決意の言葉が伝えられました。」



## 冬に向けて除雪隊が出陣

11月15日(水)：中里保健センター前駐車場



冬の肌寒さも感じられる秋晴れの中、十日町市除雪隊の出陣式が中里保健センター前駐車場で行われました。式には、中里地域の市道除排雪に携わる事業所8社が集まり、関口市長から除雪機械が引き渡されました。

その後、代表して山田敏久さん（㈲山田建設）が安全宣言を行い、訪れる冬に向けて決意を胸に、各事業所の除雪機械は一斉に出動していきました。

## 小中一貫教育 異校種体験研修で理解を深めています

市教育委員会ではすべての中学校区において、小・中学校の教職員が相互理解を深める一日異校種体験研修を実施しています。教職員が互いの学校で教育活動を行うことにより、9年間を見通し、一貫性のあるより充実した指導ができるようになることを目的としています。

小学校の授業を体験した中学校の教員は、「小学校は信頼関係を大切に、子どもに声をかけてほめる場面が多い。中学校でも発達段階に応じた関わりが重要だと感じた」と話し、中学校の授業を体験した小学校の教員は、「小学校は学級担任制なので子どもとの信頼関係の構築が重要。一方で中学校は教科担任制なのでさまざまな先生との関わりが重要。それぞれで関わり方の違いを感じた」と話しました。



## 表彰おめでとうございます



村山 信吾さん (59歳・湯本)

### 関東管区警察局長・関東安全運転管理者協議会連合会長連名表彰 (優良安全運転管理者)

昭和58年に「ひなの宿ちとせ」の安全運転管理者に就任。以来、34年間にわたり交通事故防止活動に尽力され、同事業所での通勤や業務中の交通事故ゼロを継続していることや、交通安全管理者部会松之山地区班長などの役職を務めた功績が認められました。村山さんは、「毎朝の安全運転ミーティングなど、地道な活動が認められて本当にうれしいです。今後も交通事故ゼロの継続を目指していきます」と話してくれました。

### 第16回県障がい者芸術文化祭 県知事賞 (書道部門)

「苦勞して書いたものですが、まさかこんな賞をいただけるとは思っていませんでした」と語る村山さん。全紙というサイズの大きな紙に書き上げた、「五言律詩」という作品が県知事賞を受賞しました。「こんなにうれしいことはありません。市身体障がい者福祉センターで指導して下さった先生・支援していただいている皆さんのおかげです」と、受賞の喜びと感謝の気持ちを話してくれました。



村山 宏さん (85歳・為永)



せいみや はると  
清宮 陽登さん (川治小5年)

### 県発明工夫展・模型展 県知事賞 (発明工夫)

衣服の中のシャツが上がるのを防ぐため、クリップを2つ使った「ダブルクリップ」を発明しました。介護の仕事をしているお母さんの苦勞を思い、考えたのが発明のきっかけであるそうです。清宮さんは「長さが調整でき、子どもでも使えるよう工夫しました。こんなに良い賞を受賞できてうれしいです。これからも身の回りの不便なことを便利にしたいです」と話してくれました。

## 連載コーナー Serialization corner

地元から芸術祭を盛り上げよう!!  
地元サポーター・こへび隊  
活動日誌



Facebookあります



地元  
サポーター  
こへび隊通信



地元サポーター

保坂 博也さん  
(姿第2・29歳)



JISAPO英会話教室  
11月6日(月) 会場：分じろう

### なんだコレは！～英会話に参加して～

「どっけなしよ(人)が教えてくれらんだい?参加者は集まらんかい?」初めは不安もありましたが、無料ということもあり、気軽な気持ちで第2回講座から参加しています。留学の経験などはありませんが、授業を受けるごとに「片言の英語でもおもてなしできそう」と実感しています。教室には、小中学校で英語を教える外国人の先生、海外旅行が好きの人、地元で働く若者や人生の大先輩など、豊富な顔ぶれが集まっています。

人と交流し、話すことが大好きです。これからはJISAPO英会話教室を通じて、交流の輪がさらに広がることを願っています。

■問合せ＝観光交流課芸術祭企画係 ☎757-2637



しっかりと学べ、和気あいあいとした雰囲気です。



初心者にも分かりやすいテキストで勉強します。



いろいろな人と交流できるのも楽しみの一つです。

## 叙勲おめでとうございます



山岸 角太郎さん (71歳・堀之内)

旭日双光章  
(地方自治功勞)

中里村および十日町市議会議員として、平成7年から平成25年まで17年4か月もの間、地域の発展に尽力されました。特に中里村議時代は合併特別委員会の委員長、その後は議長として「平成の大合併」の実現に奔走。歴史的事業達成に貢献されました。受章について山岸さんは「支援していただいた多くの皆さんのおかげです。また、村議のときに苦樂をともにした元村長の故山本茂穂さんに、何より感謝を伝えたいです」と話してくれました。

「子どもの“こうしたい”という気持ちを引き出し、それを適切に支えられるよう心がけてきました」と、教育信念を語る滝沢さん。昭和45年から38年間、教員として教育発展に努めた功績が認められました。「先日、教え子たちから“自分たちの声を聞いてくれた”と感謝のメッセージをもらい、感無量でした。子どもたちと向き合えば、思いは伝わります。若い教員の皆さんには、そんな信頼関係を築いてほしいです」とエールを贈りました。



瀧沢 則夫さん (70歳・田中)

瑞宝双光章  
(教育功勞)



小島 市太郎さん (70歳・東下組)

瑞宝単光章  
(消防功勞)

「夢にも思わぬ受章で恐縮しています。多くのよき仲間を代表していただいたものであると感じています。支援・指導いただいた皆さんに感謝しています」。昭和45年に消防団へ入団し、以来35年間にわたり、地域の防災・消火・救助活動に従事しました。平成13年からの4年間は副団長を務め、中越大震災のときは孤立した東下組地区の避難誘導・救護活動・避難所設営などを行いました。こうした地域の安心・安全への功績が認められました。

昭和44年に十日町地域消防署に奉職して以来、38年間にわたり、多くの災害・救急・救助活動に従事しました。在職中は、松之山分遣所・西分署で署長を務め、各種消防装備、職員と消防団員の教育訓練などあらゆる分野にわたり、消防行政の進展に尽くした功績が評価されました。小山さんは、「皆さんの支援と指導のおかげで受章することができ、非常にありがたく思います」と話してくれました。



小山 勇蔵さん (70歳・北鏡坂)

瑞宝単光章  
(消防功勞)

## 褒章おめでとうございます



林 眞砂子さん (69歳・山崎)

藍綬褒章  
(調停委員功績)

平成10年から調停委員としてさまざまな家族問題の調停役に19年間務められ、自身の経験も伝えながら多くの相談に応じてきました。「誠意を持ち、個人の考えを尊重しながら、相手の思いを聞くことを心掛けてきました。双方が納得し、歩み寄ることができたとき、とてもうれしく思います。これからは家族が認め合い、調和して暮らすことができるお手伝いをしていきたいです」と話してくれました。



若者×若者

十日町市の仕事人

# キラメキワーカーズ

語る 仕事・会社・十日町市への思い



大島 康一さん (妻有町西・31歳)

市内出身。高校卒業後、市内の食品製造業社での勤務を経て入社。入社4年目で、製造部所属。

大淵 雅俊さん (下条桑原・33歳)

市内出身。高校卒業後、新潟市の調理師専門学校で学び、板前として経験を積む。入社3年目で、製造部所属。

問合せ  
産業政策課  
☎757-3139

## 大 好きな十日町の「食」を仕事に

大淵さん「小さい頃から十日町市の食が大好きで、特にお祝いの席に欠かせないそばが大好きです。新潟市で板前も経験しましたが、地元の「食」が忘れられず戻ってきました。

大島さん「川西の出身で、当社のそばも含め、十日町市の食べ物のおいしさを直に感じてきました。食品製造に携わる仕事に憧れ、幼いときから慣れ親しんだ当社に入社しました。

## 難 しいからこそ感じる面白さ・達成感

大島さん「そばの製麺は、毎日同じ製造方法で作っても、同じものになりません。季節・気温・湿度などにより、微妙な調整が必要です。この調整が難しいのですが、それがそばの製麺、そして食品製造の面白さだと実感しています。

大淵さん「食品製造は日々が研究で、毎日良い製品を目指して取り組んでいます。失敗することもありますが、自分が納得のいくそばができたときは、とても感嘆深いです。

## 百 年続く技術・味を受け継いでいくために

大淵さん「当社のそばは百年間、大勢の先輩たちが味を守るためにその技術を受け継いできました。十日町市を代表する「食」を自分も受け継いでいくため、日々努力をしています。

大島さん「私は基礎・基本を大切に、製造からお客様への提供まで、何でもできる社員を目指します。さまざまな業務にチャレンジしていく中で、百年の味を受け継いでいきたいです。

### 協力 企業

- ・生そば、乾麺の製造販売および飲食事業経営
- ・従業員320人
- ・十日町市中屋敷758-1
- ・☎768-3311
- ・事業を通して「人づくり」を進め、地域社会に貢献できる企業を目指し、取り組んでいます。



株式会社 小嶋屋総本店



～お知らせ・ガイド～

### 農業農村整備 リレーパネル展

十日町市・津南町の農業農村の整備状況や農業水利施設など、広く知ってもらうためのパネル広報展です。

日 12月11日(月)～17日(日)午前9時～午後5時  
会場 情報館  
十日町地域振興局農業振興部 (☎757-5519)

### クロスステッチ手織り講座 作品展

平成29年度の手織り講座で織り上げた裂き織帯・ショール・着尺を展示します。受講生の力作をぜひご覧ください。

日 12月24日(日)～平成30年1月

7日(日)午前9時30分～午後6時  
休 12月31日(日)※ギャラリー休館は12月27日(水)・平成30年1月1日(元日)  
会・関 クロスステッチ (☎757-2323)

### 第22回記念 市民書き初め大会

日 平成30年1月21日(日)午後0時30分～3時30分※受付正午～  
会 クロスステッチ  
¥500円

●課題 自由  
●参加賞・アトラクションあり  
●市書道協会・大津 (☎090-5413-6586)  
※中央公民館でも申込み可

### 鈴木康博(元オフォーエス) SOLO LIVE in 段十

日 平成30年1月28日(日)午後2時～開場1時30分  
会 越後妻有文化ホール「段十ろろ」  
¥4千円(前売り3500円)  
※市民価格・全席自由、売切れ次第終了

## 募集

### 給食施設代替調理員

学校給食現場で働く職員が休んだとき、代わりに勤務できる調理員を募集しています。常勤として勤務できない人、また調理現場を定年退職した人など、ぜひ応募してください。

- 勤務場所 市内学校給食調理施設
- 勤務時間 午前8時～午後4時45分※調理施設により異なります。時間単位での勤務も可
- 賃金など 日給6690円、社会保険や通勤手当はなし
- 応募資格 調理の勤務経験があること
- 選考方法 書類選考・面談
- 定期的な検便検査あり
- 甲・関 学校教育課 (☎757-9957)

— 9957 —

### 魚沼テクノスクール 在職者訓練受講生募集

【建築CAD製図2 (断面図・立面図の作成)】  
日 平成30年1月27日(土)・28日(日)午前9時～午後4時  
定 10人  
内 Jw-cad を使って、木造住宅の伏図や断面図、立面図の作成方法を学びます  
持 Jw-cad で学ぶ建築製図の基本  
会・申・関 県立魚沼テクノスクール (☎025-794-2410)

### 上越テクノスクール 在職者訓練受講生募集

【エクセルマクロVBA入門コース】  
日 平成30年2月6日(火)・8日(木)・13日(火)・15日(木)午後6時30分～9時30分  
対 エクセルの基本操作ができる人  
¥2400円※テキスト代別  
定 10人※多数のときは抽選  
内 マクロの作成・編集、変数

### 第31回越後まつだいの陣 「のつれ」松代城「出場戦士募集

日 平成30年3月11日(日)午前11時30分スタート※受付午前9時  
会 松代総合グラウンド  
対 高校生以上  
¥4千円  
定 先着500人  
●申込期間 12月18日(月)～平成30年2月9日(金)  
●甲・関 申込み用紙(越後まつだいの陣ホームページから入手、郵送対応有)を、郵送・FAX・電子メール (matsudaio@tokamachishikankou.jp) のいずれかで、〒942-1592 十日町市松代32-52-1 越後松代幕府本陣へ(松代支所地域振興課内) へ  
☎597-2220、F597-2300 ※冬の陣ホームページ(申込みフォーム)からも申込み可

催し・講座 募集

福祉・健康

子育て

スポーツ

イベント・相談

### 福祉・健康



#### 赤十字救急法基礎講習会

##### 【夜間講習コース】

日 平成30年1月10日(水)・17日(水)  
時 午後7時～9時※4時間  
会 市民交流センター1分じろう  
定 3人

定 心肺蘇生法、AEDでの除細動・気道異物除去など

##### 【日中講習コース】

日 平成30年1月21日(日)午後1時～5時  
会 津南町総合センター  
定 20人

※ 平成30年1月12日(金) (共通)  
対 15歳以上  
¥ 15000円※教科書代・保険料

定 心肺蘇生法、AEDでの除細動・気道異物除去など  
申・同日赤十日町市地区事務局 (社会福祉協議会内) ☎750-5010)

#### 大腸がん検診未開封の検便容器返却のお願い

今年度の市の大腸がん検診は終了しました。未開封の検便容器(緑色の袋)は早めに返却してください。

● 返却場所 健康づくり推進課・各支所市民課・各地区公民館

● 健康づくり推進課成人保健係 ☎757-9764

#### 救急医療電話相談窓口の開設

夜間の急な病気やけがなどについて、看護師などが医療機関受診の必要性や対処方法について助言します。

##### 【大人(概ね15歳以上)】

☎7119(ブッシュ回線・携帯電話のとき)、025-284-7119(ダイヤル回線・IP電話・PHSのとき)

##### 【15歳未満の子ども】

☎8000(ブッシュ回線・携帯電話のとき)、025-288-2525(ダイヤル回線・IP電話・PHSのとき)

#### 子育て

● 相談時間 毎日午後7時～翌日午前8時

● 関 県福祉保健部医務薬事課地域医療班 ☎025-280-5183

### 子育て



#### 笹山縄文カレッジ カンジキ作り&トリッキング

日本古来のスノーシュー「カンジキ」を豪雪地の十日町仕様で作ります。出来上がったカンジキを履いて、歩いてみませんか。

日 平成30年1月21日(日)午前10時～午後3時

会 笹山縄文館・遺跡広場  
対 小学生以上※親子の参加も可  
¥ 5000円  
定 10人

講 大熊平治郎さん  
※ 平成30年1月14日(日) 申・関住所・氏名・電話番号を電子メール(museum10@city.tokanachi.jp)または電話で博物館へ ☎757-5531)

### がん患者会 エンジェルスマイル

がんの体験や悩みについて語り合い、交流するための集いです。リンパマッサージに関する情報提供も行っています(要事前連絡)。

日 奇数日の第2(土)午後1時30分～3時30分 ※受付午後2時30分まで

会 市民交流センター分じろう

対 女性特有のがん(乳がん・子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん)を治療中または経験した人

関 田中 ☎090-2179-4383

### 雪害からLPガス設備を守りましょう

雪害事故を防止するため、次のことに注意してください。

- LPガス容器やメーター周辺、屋外設置の給湯器などは、雪に埋もれることがないように除雪しておく
- 屋根の雪下ろしの際は、周囲のLPガス設備にも注意する
- 排気筒や吸気口が雪で塞がれたり、排気筒に破損がないか点検する

※ 万一、ガス漏れや燃焼器具に異常があったときは、すぐに取引のあるLPガス販売店に連絡してください

関 (一社) 県LPガス協会 ☎025-267-3171

### くらし相談



#### 清津峡渓谷トンネル 閉坑期間

渓谷トンネル内のリニューアル工事に伴い、例年より1か月早く閉坑します。

● 閉坑期間 12月12日(火)～平成30年3月31日(土)※予定  
関 中里支所地域振興課 ☎763-2511

#### そばこいてー! たった2分の給油中

これからの時期、ホームタンクから灯油を小分けするとき、うっかりミスで灯油を流出させる事故が多発します。

油の流出は地下水や河川の汚染原因になり、周辺に影響を及ぼすことがあります。灯油を小分けにするときは、給油が終わるまで目を離さないでください。また、降雪前に給油管なども点検しましょう。

関 環境衛生課環境企画係 ☎752-3924

#### 個人に起因する 雪処理助成事業

屋根雪などの処理作業で、やむを得ず道路上に出した雪を、雪出し場まで排雪する作業費用を補助します。2軒以上が利用する道路の排雪を業者に委託したときが対象です。詳細は問い合わせください。

関 建設課維持係 ☎757-9932 または各支所農林建設担当

#### 救急医療電話相談窓口の開設

● 相談時間 毎日午後7時～翌午前8時まで

● 電話番号 119(ブッシュ式電話) または携帯電話#7119、ダイヤル式電話・IP電話またはPHS ☎025-284-7119

関 県福祉保健部医務薬事課地域医療班 ☎025-280-5183

#### 「越後まつだい里山食堂」は奴奈川キャンパスで臨時営業します

まつだい「農舞台」の改修工事に伴い、会場を「奴奈川キャンパス」に移して、チーズフォンデュをメインとした冬限定のスペシャルビュッフェを準備して営業します。冬だけの特別なレストランにぜひお越しください。



- 日 12月23日(土)～平成30年4月1日(日)の(土)・(日) 祝午前11時30分～午後3時※ラストオーダー午後2時30分
- 休 12月30日(土)～平成30年1月1日(元日)
- 会 奴奈川キャンパス(室野)
- 他 事前予約で北越急行ほくほく線「まつだい駅」から送迎します
- 関 「大地の芸術祭の里」総合案内所 ☎761-7767

### 第13回ほくほく線元気まつりinまつだい～秋の宴～ 「第5回フォトコンテスト」の結果発表

関 松代支所地域振興課 ☎597-2220

10月15日(日)に行われたほくほく線元気まつりの、「第5回フォトコンテスト」を開催しました。当日の様子を撮影した22作品の応募の中から、次の3作品が入賞しました(敬称略)。

#### ● 最優秀賞



「旧道に咲いた華」小坂幸平(十日町市)

#### ● 優秀賞(得票順)



「歓喜の雨」田原伸浩(長岡市)



「へーい」古川和久(上越市)

新潟県特別栽培農産物  
認証制度

県と市では、農業の自然環境への影響を小さくし、より安心できる米を消費者に届けるため、「人と環境に優しい農業」を推進しています。たい肥などの有機質資源を利用した土づくりを基本に、農薬と化学肥料をできるだけ減らした米づくりに取り組んでいます。

市では、ほぼ全ての水田で農薬と化学肥料を3割以上減らした米づくりが取り組まれており、そのうち5割以上減らした栽培が水田全体の約17%となっています。この取組みを支援するため、県では農薬と化学肥料を5割以上減らして栽培した農産物を「特別栽培農産物」として認証しています。



認証制度の取組みの相談や不明な点は、問い合わせてください。  
●申請期限 平成30年2月1日(※栽培開始が4月〜8月)

●相談・十日町地域振興局 農業振興部 (☎757-518) または農業振興事務支援センター (☎761-7144)

裁判所からのお知らせ  
家庭裁判所と家庭裁判所調査官  
「法と心をつなぐ」

家庭裁判所は、少年非行や家庭に関する紛争を扱います。少年の立ち直りや家庭の問題解決のためには、その心理や人間関係、環境などの考慮が欠かせません。そこで、心理学などの専門的な知識や技法をもった家庭裁判所調査官が重要な役割を果たします。

家庭裁判所調査官は、人生の重要な局面に立ち会い、解決に導く「プロフェッショナル」です。詳しくは、裁判所ホームページ (http://www.courts.go.jp/saiyo/index2.html) をご覧ください。

●新潟家庭裁判所事務局総務課 (☎025-333-0053)

年末年始の業務・営業情報などのお知らせ

●問合せ：掲載の各施設

Table with columns for facilities (施設), dates (23-31 Dec, 1-8 Jan), and notes (備考). Rows include childcare centers, museums, and public buildings.

Table with columns for facilities (施設), dates (23-31 Dec, 1-8 Jan), and notes (備考). Rows include city hall services, waste collection, and cultural facilities.



昭和43年に旧中里村から嫁いできたツグさん。夫の幸一さんに連れられ、土市駅から雪道を歩いて鉦柄沢まで向かう道中、いつまでも着かないので「まだかあ、まだかあ」と聞くと「もうすぐだ」と言われ、結局10キロを歩きました。

「だまされたと思った」と笑いながら話すツグさん。翌年から農業をする傍ら、お義母さんと一緒に機織りを始めました。

『ガチャマン』と呼ばれる織機で、機織りはツグさんが担当し、糸やガチャマンの修復は幸一さんが担当し

ました。糸は非常に細く繊細で、すぐに切れてしまうため、その修復が一番苦労したそうです。また、ガチャマンが壊れても今のようにならなく、修理屋が来てはくれなかったのです。夫の幸一さんが修復や維持管理をして、夫婦で支え合いながら続けてきました。

「まだ家で機織っているのはおらのとこだけかもしれないなあ。機織りの技術が失われていくのはなんともさみしいね。できる限り続けたいね」

# おばあさんからガチャマン

— つなぐ知恵と技 —

31 ガチャマン (織機) しよつき  
桑原 ツグさん (鉦柄沢・72歳)

## 「ガチャマンがつむぐ機と夫婦の絆」



①反物の横糸になる緯糸(ヌキイト) ②③専用の機械で緯糸を管(クダ)に巻いて保管 ④シャトルに管をセットし1列ずつ織りあげていく ⑤40年以上使っている織機 ⑥反物を織っている様子 ⑦「昔は雪が降ると機屋が反を取りに来られなくて、町まで歩いて持って行くこともあったんだよ」と、当時の苦労話…

静かな集落に時折響く「ガチャン、ガチャン」という音。リズムよく左右に糸が動き、織りあげられていく反。昔は当たり前だったこの風景もほとんど残っていません。子どもたちにもこの技術、文化をぜひ体感してほしいですね。

取材した人  
地域おこし協力隊  
俵山 直人さん



里山で育まれた知恵や技をぜひ紹介してください。自薦他薦は問いません。申し込み・問い合わせは企画政策課広報広聴係 ☎757-3112まで

## このとき 熱中&夢中

市民活動ネットワークひとサボが、旬な人・団体を紹介します。

117



20歳代を中心とした男性9人、女性5人で活動中。ボーカル・ギター・ベース・ドラムのほか、ボイスパーカッション・トランペット・サクソ・キーボード・パーカッションが加わり、ボーカルは3人で歌い分けます。

5月のアマチュアバンドコンサート出演がきっかけで、出演依頼が増。客層に合わせて歌謡曲から洋楽まで誰もが楽しめる曲を選曲し、小道具などで工夫を凝らします。これまで演奏した曲は100曲にものぼります。



メンバーの家に作られた防音室で練習。大人数のためステージ前はパートごとに練習を重ね、全員で合わせられるのは2、3回ほど。音源を耳で聴き取って再現する「耳コピ」や、自ら楽譜を起して演奏し、アレンジも楽しめます。



「まめかいFacebook」

20〜40歳代の音楽好き市民で結成した、社会人アマチュアバンドです。14人という大勢のメンバーが在籍しており、管楽器も取り入れた厚みのある音と圧倒的な歌唱力でイベントなどへの出演を中心に、活動しています。さまざまなジャンルの曲に挑戦して、メンバー全員が更なるスキルアップを目指しています。

◆問合せ：村武吉之さん (☎080-3407-7367)

## 音楽の楽しさを再認識する場所

まめかい

設立メンバーでドラム担当の村武吉之さん(本町6の1・39歳)は、音楽仲間とともに市内の飲食店に集い、ピアノのある店内で演奏を楽しんでいました。その後地元祭りの出演を機に、音楽活動を本格化させます。

「十日町には、音楽が好きでその腕前を披露したい人がたくさんいます。そんな人たちをくみ上げて、音楽をできる場所を作りたいというのが当初からの思いです」と村武さんは話します。5人で始まった活動も、市外出身のお嫁さん・転勤族・子育て中のママなどが加わり、音楽によって活動の輪が広がりました。

市民吹奏楽団やロックバンド、ゴスペルなどグループを掛け持ちするメンバーも多い中、まめかいは気兼ねなく好きな曲に挑戦し、音楽の難しさや楽しさを実感する場となっています。「音楽のジャンルが違うと関わりが難しいように思いますが、一緒になって演奏してみるととても楽しいです」と話すメンバーの皆さん。大好きな音楽を自由に楽しめるバンドとして、活動を続けて行きます。

活動を紹介したい団体を募集しています  
ひとサボ ☎761-7444



# ジュニア芸術祭

貝野小学校  
150



吉樂 那月さん (1年)

はっぱのきょうだい



はっぱの三きょうだいがあそんでいるところです。くふうしたところは、いろいろな色でこすり出したところです。どんぐりをつけるのが大へんだったけれど、かおは上手にかけました。



たまごからクジラがザブーン！  
樋熊 華蓮さん (2年)



たまごからクジラが生まれたらおもしろいと思ってかきました。白い絵の具で水しぶきをかいて、クジラがザブーンといきおいよくとび出して見えるように工夫しました。



南雲 豪さん (3年)

えっ？名前で絵！



自分の名前をデザインにしてかきました。「豪」という名前には「力強い」という意味が込められているので、力こぶをかきました。大好きな家族ときれいな虹がお気に入りです。



4月からリコーダー部で吹いているバスリコーダーを描きました。バスリコーダーの吹き口や金具をよく見て上手に描くことができました。ほおの色を重ねて塗ったところを工夫しました。



バスリコーダーを吹くほく  
南雲 拓海さん (4年)



南雲 美空さん (5年)

親子



楽しそうな親子を表した作品です。人にはそれぞれ、大切な言葉があります。私は、「笑顔」は心を豊かにすると思い、この言葉にしました。



樋口 翔瑛さん (6年)

我が輩は猫である



夏目漱石の小説をヒントにして作りました。この言葉は志村けんさんの言葉で、ぼくの座右の銘です。

